



徳之島町立山中学校学校だより令和3年10月25日

Shine【少数の良さを生かす。生徒がきらり輝く教育】
Area【地域の人や自然を生かす。地域に根ざした学校】
Never give up 【ひたむきに努力する教師と生徒】

知足（足るを知る）

校長 舞田 裕二

10月は中旬まで日中の猛暑に、季節を間違っしてしまっていました。ここ数日、急に秋の訪れを（肌）感じるようになりました。霜降（そうこう：露が冷気によって霜となって降り始めるころ）が過ぎ、やがて11月（霜月）を迎えます。暦では、立冬へ向かう頃ですが。これから訪れる冬は、どんな冬になるのでしょうか。

さて、京都に龍安寺という歴史的価値の高い建造物の宝庫と称されるお寺があります。最も有名なのはエリザベス女王が絶賛した石庭や重要文化財に指定されている方丈や禅の格言が刻まれたつくばいなどがあります。

寺の一番奥にある手や口を清めるためのつくばい（手水鉢）は、多くの参拝者が訪れる名所の一つで、表面に禅の格言である「吾唯知足（われ、ただ足るを知る）」が刻まれています。「不平不満に思うことなく満足する心もちなさい」という意味であり、「足ることを知る人は、心は穏やかであり、足ることを知らない人は、心はいつも乱れている」という釈迦が説かれた教えということです。心に迫る言葉が、人生の教訓を教えてください。

この足るを知る「知足」について、

- 自分がやった分は必ず見返りがある。（そう思って暮らすうちは不満だらけ）
- 自分がやった分に見返りを求めない。（そう思うと結構、見返りがあることもある。こう思って暮らすと結構、人生が楽しくなります。）

「情けは人のためならず」という言葉は、その行為が自分にも良い影響を与えることを意味しています。人にかけての情けが巡り巡って自分にも返ってくるという意味だと考える人は、残念ながらやっぱり見返りを求めており、「足るを知らない」ということになります。

これを「勉強」に置き換えてみると（「学び」ではなく、あえて「勉強」とします。）勉強とは本来、（教えに従って）『身に付けるべきこと』を身に付けることです。「しなければならぬ」が前提です。（学びは、自発的に「こうありたい」、「こんな自分になりたい」という知的好奇心をかき立てる探究のプロセス、単なる知識の習得ではなく新しい知識を生み出す「発見と創造」が本質であり、求められている資質・能力のことです。）

知足の視点から、「勉強」を捉えてみると

- 自分がやった分は必ず見返りがある。（そう思って取り組むと不満や苦労はあっても、諦めずに取り組むことができる。）

こちらの方がしっくりいきます。自分がやったことに見返りを求めずに勉強はできません。「情け」は、他人に対する思いやりや人情などを意味していますが、「勉強」は直接自分に関わることから「人のためならず」＝「自分のため」としっかりと自覚して、自分と向き合うことが第一です。最近の子どもたちの傾向に「辛いから諦めよう、これだけやっても成果が出ないからやめよう、ここまでやったから諦めようか..」などが見受けられる気が...

折り返しの10月までは、教科等の授業や学校行事、生徒会活動等で個々の生徒の様々な実りを感じることができました。11月から、さらに充実の後半に向かっていきたいと考えています。子どもたちは4月からの自分を見つめ、頑張れる自分、そうでない自分が分かるようになってきています。今一度、初心に戻り、足るを知る「知足」と「情けは人のためならず」をもって、今を大事に、そして、希望をもって未来に向かってほしいです。

山の幸学習始まりました

二学期の「特色ある教育活動」のひとつ「山の幸学習」が始まりました。体育館裏手の学校農園で、今年度も野菜を栽培します。第一回目は、9月28日（火）6校時にたくさん埋まっていた石を除去しました。第二回目は、10月5日（火）に施肥、耕運し、畝を作っていた畑の二度目の石除去と畝固めの作業を行いました。第三回目は、10月14日（木）に、ポットにキャベツとブロッコリーの種子植えを行いました。第4回目は、11月8日（月）に、全員で大切に育てた苗を畑に植え付ける予定です。今年も大根、人参、キャベツ、ブロッコリー、ジャガイモを植え付けます。今後は毎日、灌水、追肥、害虫除去等の管理作業を行い、育てた野菜は三学期（2月初旬の予定）に収穫、調理し、みんなで試食します。「チーム山中学校（全校体制、全職員行動、焦点は生徒）」を合い言葉に、今後も師弟同行で畑の管理作業を続け、野菜が順調に成長するようにみんなで見守っていきます。



9/28（火）石ころの除去作業



10/5（火）畝作り（畝固め）作業



10/14（木）苗植え作業

第1学年国語科研究授業（榮教諭）

10月11日（月）に、東天城中学校の末留健太郎校長先生を講師として招聘し、榮教諭の国語科研究授業と職員研修を兼ねた授業研究を実施しました。本校では、生徒の確かな学力の定着を図るために、「自分の考えをしっかりと書かせ、根拠を明確にして、話し合い、互いの考えを深め合う」場面を位置付けた授業改善に全職員で取り組んでいます。教師は「ファシリテーター」に徹し、生徒の主体性を引き出し、自ら学び続ける意欲をもった生徒の育成に努めていきます。



山中学校・手々中学校交流学習会

9月30日（木）に、手々中学校との交流学習会を実施しました。手々中学校からは各学年1名の計3名の生徒が来校し、音楽・国語・理科・体育と一緒に学習し、給食や清掃活動も一緒に取り組むなど、終日交流しました。お互いの親睦を深め合い、楽しい時間を共有できました。



国語の学習(百人一首)



理科の学習(水溶液の実験)



みんなで給食



みんなで集合写真

<11月の主な行事>



- 10月25日（月）～11月5日（金）校内読書旬間
- 11月1日（月）地域が育む「かごしまの教育」県民週間（～7日）
- 11月1日（月）後期生徒会スタート
- 11月4日（木）・5日（金）3年生実力テスト
- 11月5日（金）3年学年PTA
- 11月6日（土）徳中体連新人総体
- 11月8日（月）・16日（火）山の幸学習
- 11月11日（木）職場見学（1年）、福祉体験（3年）
- 11月19日（金）町英語スピーチ・弁論大会
- 11月21日（日）ボランティア清掃（7:00～）
- 11月24日（水）～26日（金）2学期期末テスト

地域が育む『かごしまの教育』県民週間

11月1日（月）～7日（日）

1日（月）、2日（火）、4日（木）、5日（金）フリー授業参観

